

中野三允 （あきひ） 俳人。明治十一年七月、二十日埼玉縣生れ、昭和二十九年九月二十四日歿（八五―九五）。本名澤二郎。別號三允生、俳毒庵主人、猪口三允、非火食等。明治二十二年東京專門學校卒。四十一年東京帝國大學附屬病院勤務。薬剤師となり大正八年藥局開業。在學中止岡子規、久門、吉野左衛門等と早稲田俳句會を興す。明治二十五年中山裕青等と俳誌『ヨウライ』を創刊、大正元年齋藤知台等と新緑社結成、七年『獨綠』創刊主宰、十一年『大』止、日新聞『俳壇選者』著書『水あふひ』（本名、合著、明治二十二年二月二十九日内外出版協會）、『新綠後第一集』（伊東牛歩齋藤知台合著、大正十四年一月二十八日新緑社）、『俳毒庵句錄・第一輯』（昭和十一年五月十六日『のミヅ』會）の『のミヅ』會叢書「く」、岩田鳴球著『琥珀のかけら』（編、昭和十二年七月十三日『のミヅ』會）の『のミヅ』會叢書「く」、『三允句集拾遺・俳壇路』（昭和四十年九月二十四日中野久寿雄刊）等。